

学校評価に係るアンケート

【判定】 (市の基準)  
 A : 肯定率の平均が90%以上  
 B : 肯定率の平均が60%以上90%未満  
 C : 肯定率の平均が60%未満

※肯定率は評定4・3の合計 (児童、保護者 93%以上... 85%未満... )

評価領域	担当	評価指標・質問	対象	R5		R6		評定(%)				教職員による自己評価・考察 ○成果 ◆課題と対策	
				判定	肯定率	判定	肯定率	4	3	2	1		
教育課程・学習指導	近藤玉井片岡渡部	教師は、松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	教職員	A	96	A	94	59	35	6	0	○ICTを使うことにより個に応じた学習をより進めることができるようになった。 ○デジタルドリル「タブドリLive！」の影響は大きく、子どもたちがタブレットで意欲的に学習できるようになっている。また、基礎的な問題を繰り返して行うことができ、即時に採点され結果が分かたりするよさがある。結果を生かして学習する力を付けられるように指導することで、そのよさがもっと発揮できるようにしたい。並行して、書くことで身に付けたい力を明確にして基礎・基本が身に付くようにしたい。 ○各学年1名、学習アシスタントを配置しており、特に算数科の児童がつまづきやすい単元で活用し、基礎・基本の徹底を図っている。大変有効な支援ができているので、来年度も教育委員会に予算増額の要望をしている。 ◆学習面での基礎・基本については、漢字の書き順や字形の取り方を丁寧に指導していく必要がある。また、算数科においては、特に計算問題に対して、子ども一人一人に寄り添った指導が必要である。(例えば、わり算の筆算が苦手な子どもには、単元が進んでいっても、ある程度基礎的な問題でやり方を身に付けさせることを優先させるなど。) ◆学習面で基礎・基本を定着させるには、ご家庭の協力が欠かせない。保護者への啓発を行うとともに連携を密にしていきたい。	
		教師は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	教職員			A	100	53	47	0	0		
		学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童生徒の育成に努めている。	教職員			A	94	53	41	6	0		
		授業の内容がよく分かりますか。	児童	A	94	A	94	59	35	5	1		
		タブレットを使うことで、学習がよく分かり楽しくなりましたか。	児童	A	94	A	96	73	23	3	1		
		学校は、タブレット端末などICT機器のよさを適切に生かしながら、授業に取り組んでいる。	保護者			A	90	35	55	9	2		
	片岡河野	玉井片岡	お子様は、学習面での基礎・基本が身に付いている。	保護者	B	79	B	81	28	53	18		2
			学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童の育成に努めている。	保護者			A	94	41	53	5		1
		教師は、児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	教職員	B	87	A	100	71	29	0	0		
		ふだんの授業で、自分の考えが発表できていますか。	児童	B	76	B	85	55	30	12	3		
中尾	河野	進んで学校や家での学習に取り組んでいますか。	児童	A	91	A	92	60	32	7	1		
		読書に熱心に取り組んでいますか。	児童	B	83	B	82	51	31	13	5		
	外で元気に遊んだり、体を動かしたりすることに、進んで取り組んでいますか。	児童	B	89	B	86	63	23	12	2			
	お子様は、学習に意欲的に取り組んでいる。	保護者	B	80	B	79	27	52	18	3			
河野	玉井片岡	お子様は、進んで運動に取り組んでいる。	保護者	B	78	B	80	36	44	17	3		
		教師は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	教職員	A	100	A	100	71	29	0	0		
	差別やいじめを許さない気持ちを強く持っていますか。	児童	A	93	A	94	68	26	5	1			
	友達が困っているときに、進んで助けることができますか。	児童	A	92	A	93	65	28	6	1			
人権・同和教育、生徒指導	河野泉長野	学校は、いじめや差別を許さない意識や態度の育成に向けて努力している。	保護者	B	89	B	86	28	58	13	2		
		学校は、異年齢が関わる活動をよく実施し子どもたちの成長に役立っている。	保護者			A	97	45	52	3	0		
		学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童の実態に応じた適切な指導を行っている。	教職員	A	96	A	100	53	47	0	0		
		明るいあいさつができていますか。	児童	B	83	B	84	47	37	14	2		
	河野	あなたは、学校や学級のきまりを守れていますか。	児童	A	93	A	96	60	36	3	1		
		学校や学級での生活が楽しいですか。	児童	A	96	A	95	69	26	4	1		
		悩みごとや困ったことがあるときには、先生に相談できていますか。	児童	B	77	B	80	44	36	12	8		
		友達や先生の話をもっとよく聞いていますか。	児童	A	90	A	90	58	32	9	1		
		先生は、いけないことをしたときには、しかってくれますか。	児童	A	97	A	96	81	15	3	1		
		お子様は、安心して学校に通い、楽しい学校生活を送れている。	保護者	A	93	A	94	55	39	5	1		
キャリア教育	玉井	お子様は、友達や先生、地域の方々に明るい挨拶ができていますか。	保護者	B	87	B	87	24	63	12	1		
		教師は、将来に夢を持ち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている。	教職員	A	91	B	89	59	30	11	0		
		夢やめあてに向かって努力を続けていますか。	児童	A	93	A	93	68	25	6	1		
安全管理	河野	お子様は、夢やめあてを持ち、その実現のために努力を続けていますか。	保護者	B	67	B	69	20	49	25	6		
		教師は、児童に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに安全な環境づくりに努めている。	教職員	A	100	A	100	53	47	0	0		
保健管理	原井川影浦	学校は、交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	保護者	A	97	A	93	37	56	5	1		
		教師は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康保持・増進に努めている。	教職員	A	100	A	100	59	41	0	0		
		学校は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を行っている。	教職員	A	100	A	100	59	41	0	0		
		「早寝・早起き・朝ご飯」ができていますか。	児童	B	81	B	83	52	31	12	5		
		お子様は、「早寝・早起き・朝ご飯」ができていますか。	保護者	B	78	B	74	31	43	22	4		
学校は、換気や手指衛生などの、基本的な感染症対策を適切に行うなど、安全・安心な学校づくりに努めている。	保護者			A	95	40	55	4	1				

特別支援教育	榎田村	教師は、特別支援教育の視点を持って取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	教職員	A	91	A	94	47	47	6	0	○学級担任は、様々な個性を持つ児童一人一人の実態を把握し、保護者と情報を共有して、よりよい学校生活を送ることができるよう努めている。 ○学級担任だけでなく、特別支援教育コーディネーターや生徒指導主事、管理職、関係諸機関と連携を図り、早急に対応できるよう、また一人一人のよさが引き出せるよう、今後も努力していく。
		学校は、子どもたち一人一人の能力や特性に応じた支援や指導を行っている。	保護者	B	78	A	93	30	63	2	6	
組織運営	教頭	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	教職員	A	100	B	88	70	18	6	6	◆各学年主任と連携を取り、日々の課題に対し、迅速に対応できるよう努める。
		学校は、管理職や学年主任等を中心にチームで対応してくれている。	保護者	A	90	A	90	34	56	8	3	
研修	玉井	教師は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応に向けて、積極的に研修に取り組んでいる。	教職員	A	96	A	94	59	35	6	0	○研修主任を中心に、センターフェスタに向けた校内授業研究や各種の研修により、各教師が学ぶ姿勢をもち、頑張っている。
保護者・地域との連携・情報提供	教頭	学校は、教育活動の充実に向けて、地域や保護者と連携・協力している。	教職員	A	100	A	100	53	47	0	0	○地域ボランティアや保護者ボランティアを募り、地域や保護者の協力を得ながら、充実した教育活動ができた。 ○校報しのめや学年だより、ホームページ等で積極的に情報発信することで、学校や子どもたちの様子を伝えることができた。 ◆地域行事への参加については、町内会や公民館等から情報を得ながら、子どもたちだけでなく、テトルやホームページ等で、保護者にも参加を促していく。
		お子様は、地域の行事に積極的に参加している。	保護者	B	61	C	59	15	44	28	12	
		学校は、学校・学年だよりやホームページ、配信システム等により、積極的に情報を発信している。	教職員	A	100	A	94	53	41	6	0	
		学校は、校報しのめや学年だより、ホームページなどで、学校や子どもたちの様子をよく伝えている。	保護者	A	99	A	99	61	38	1	0	
教育環境	玉井清家	教師は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	教職員	A	96	A	95	77	18	5	0	○季節を表す言葉や学習で取り組んだ内容などを掲示し、子どもの語彙を増やすように努めた。 ○朝の時間を使ったわくわくトークタイムや授業におけるつながりタイム等、友達と関わりながら伝え合う機会が充実した。
		学校は言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	保護者	A	95	A	95	43	52	4	1	
幼保小中連携	教頭 近藤玉井樹水	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	教職員	B	86	A	95	77	18	5	0	○愛媛大学の学生に学習アシスタントや地域連携実習として、教育活動の支援をってもらう機会が多くあった。学習活動の支援や校外学習等の見守り、安全確保など、教育活動の多くの場面で、児童が安心して学べる環境を作ることができた。また、愛媛大学と連携して、次世代の教員を育てることに貢献できた。 ○6年生が直接、東中生と交流する機会があり(壮行会や中学生の生活紹介など)有効であったように思う。今後も続けていく。 ○園での様子や取組などを園と共有することで、環境の変わる入学後、不安を感じている子どもに具体的な支援をすることができた。 ○隣接している松山市教育研修センターや愛媛大学と連携し、授業研究等、充実した研修ができており、子どもたちへの支援、指導に大変役立っている。
		学校は、関係園・校で連携して児童生徒への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。	教職員	B	81	B	89	65	24	11	0	
		学校は、家庭・地域・関係機関(東中・市教育研修センター・愛大・日赤など)と連携して教育活動を充実させ、子どもたちの健全育成に努めている。	保護者	A	92	A	90	39	51	9	1	